

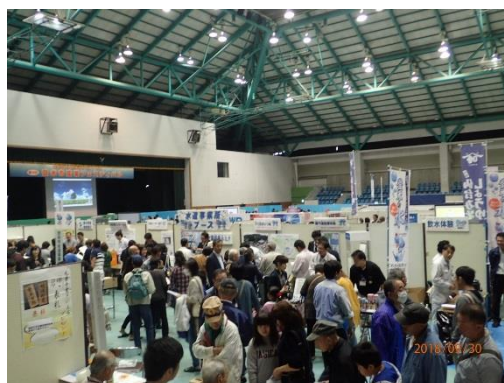
水道事業をPR！第14回産業フェスティバル

■多くの皆さんに水道事業をPR

地元のモノづくり産業や企業の紹介、市民との触れ合いの場を提供する「第14回登米市産業フェスティバル」が9月30日（日）に登米市迫体育館・中江中央公園を会場に開催されました。

登米市水道事業所では、水道に関するパネルや耐震管の模型展示、水道クイズ、膜ろ過実験、下り松ポンプ場の紹介などを行い市民の皆さんへ水道事業を知って頂きました。

今回は、多くの方が訪れ大いに賑わいを見せた産業フェスティバルの様子をお伝えします。



■水道事業所のイベント

◆水道クイズにチャレンジ！！

登米市水道事業に関するクイズには、午前の部・午後の部併せて400人の方々がチャレンジしました。

答えのヒントが各ブース内に展示されていたため、参加者は、ヒントを探して各ブースをじっくりと見て回り、水道について学びながらクイズを楽しんでいました。

最後の回答ブースでは、回答の結果に応じて参加者にメモ帳、ペン、コースター、災害時に役立つ給水袋などが贈呈されました。（問題&回答を下記に掲載しています。）

今年度も、多くの会社からメモ帳やペンなどたくさんの景品を頂きありがとうございました。水道クイズの記念品との飲水体験の参加者に配布いたしました。



水道クイズの参加者には、記念品を贈呈しました

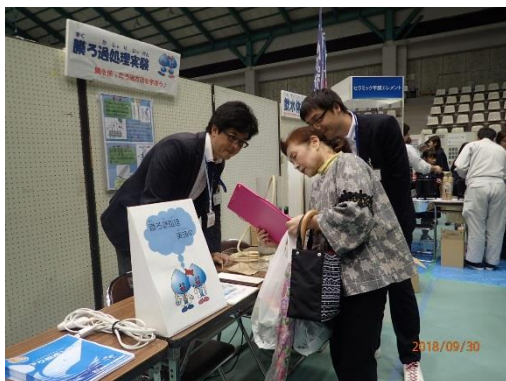


いただいた記念品は、飲水体験の参加者に配布しました。

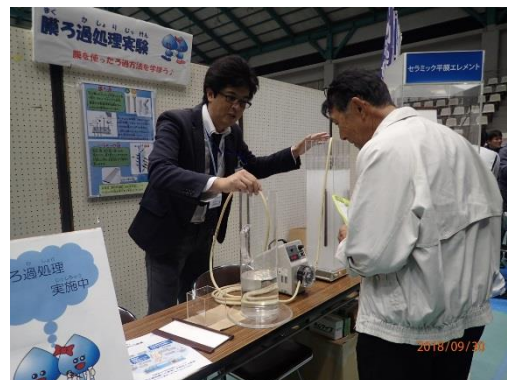
◆どのようにして水はきれいなるの？「膜ろ過処理実験」

いつも飲んでいる水がどのように浄水処理をしているのかを知ってもらおうと、浄水施設の運転管理を委託している明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体と協力し「膜ろ過処理実験」を行いました。

濁った水と膜ろ過処理により透明になった水を見比べていただきました。



膜ろ過処理で使用しているセラミック平膜をPRしました。



膜ろ過処理装置を使用して、濁った水と透明になった水を比較しました。

◆地震に強い水道管って？「耐震管模型展示」

製造メーカーの梯クボタからスタッフを招き、地震に強い水道管（耐震管）の模型を展示しました。大きな揺れを受けても壊れない仕組みを分かりやすく知ってもらいました。



地震によって実際に水道管が動く様子がわかる耐震管の模型を展示しました。



手動模型で説明を行ない、一般管と耐震管の違いを知っていただきました。

◆飲み比べて違いはあるのかな? 「飲水体験」

飲水体験では、錦織水系浄水場で作られている水道水と市販の水を飲み比べてもらいました。



今年、錦織浄水場に導入する予定の膜ろ過処理水と市販水の飲み比べを行いました。

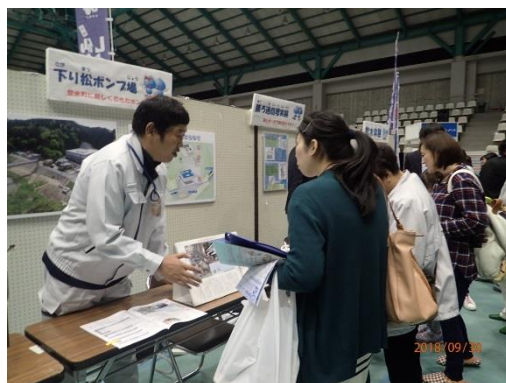


水道水も市販水も冷やせば味の大差はなく「おいしい」といった感想を多くいただきました。

◆下り松ポンプ場って何だろう? 「下り松ポンプ場の紹介」

今年、登米町に完成した「下り松ポンプ場」を市民の方々にPRしました。

市民の認知度は低かったようだが、小学生は、保呂羽浄水場見学の際に説明を受けていたため、名前を知っている方が多い印象を受けました。



水道クイズにも含まれていたため、多くの方々に知っていただきました。



広報とめ8月号に掲載していたため、そのPRも行いました。

◆水道メーターってどんな仕組みになっているの？「水道メーター器展示」

ここでは、各家庭で実際に使用されている水道メーター器を展示しました。

来場者へスタッフがメーター器の模型やパネルを使用し、メーター器の仕組みや指針の読み方などについてPRしました。



メーター器を確認することで、宅内の漏水を発見することができます。



メーター器を冬の寒さから、守る保温材料についてもPRしました。

「委託事業者 PR ブース」

水道事業所が業務を委託している事業者による PR ブースでは、水道管の漏水調査に使用する漏水探知機や音聴棒の展示などの他、子供向けのゲームなどを作り大変にぎわいました。



ボールをゴールに入れるPKゲーム
(水道お客様センター)



特殊な漏水調査機器の展示・漏水音の体験
(フジ地中情報㈱)



各メーカーより、数多くの記念品の提供を頂きました。ありがとうございました。



一日を通して多くの来場者でにぎわいました。